

2024.6.20 かながわSDGsパートナーmtg



# SDGs目標達成に向けた JA横浜との協働

JA横浜 経営企画本部 事業企画室

- ① 一緒に新商品を開発しませんか！？
- ② やるJAんマルシェを一緒に開催しませんか！？
- ③ 農福連携の取り組みに参画しませんか！？

# ①JA横浜オリジナルSDGs商品



## フードロス削減をテーマにした商品開発

～『「もったいない」を「美味しい！」に』をコンセプトに～

当JAは、フードロス削減やSDGsへの取り組みとして、「地産地消の推進」「規格外農畜産物の活用」「市内農地(\*)の活用」をテーマにした商品開発に取り組んでいます。

みつ症という生理障害によって販売できない横浜の梨“浜なし”が「もったいない」。

使っていない市内の農地(\*)が「もったいない」。

そんな職員の思いから、JA横浜オリジナルSDGs商品を開発し新たな「美味しい」が誕生しました。

(\*)農家が耕作できなくなった農地

# やるJAんカレー



- 発売開始日 2022年10月14日
- 商品名 いとしのやるJAん横浜カレー  
やるJAん横浜ひきにくカレー
- 内容量 180g(1人前)
- 価格 398円(税込)
- 賞味期限 製造日より18ヵ月
- 製造元 泉万醸造(株)様
- 横浜市産原料 浜なしピューレ、豚肉、たまねぎ
- 保存方法 直射日光を避け常温保存
- 販売数量 18,002個(2024.5現在)



浜なしのフードロス削減をテーマに市内産の食材を使ったカレーを作りたいというJA職員の発想が出発点となり、開発された本品。

### <原材料のこだわり>

- ・横浜市産の豚肉や玉ねぎを使用！！
- ・豚肉は、横浜市の養豚農家が餌にこだわって生産するブランド肉！
- ・玉ねぎは、JA職員が市内の農地(\*)を活用して生産(一部)！

横浜産農畜産物の旨味と、JA職員のアツい想いが、たっぷりと詰め込まれた一品です！！



(\*)農家が耕作できなくなった農地

# やるJAんどら焼きとやるJAんバウム



- 発売開始日 2022年11月4日
- 商品名 幻の浜なしどら焼き  
まぼろしの浜なしバウムクーヘン
- 内容量 1個
- 価格 270円(税込)
- 賞味期限 製造日より60日
- 製造元 (株)ありあけ様
- 横浜市内産原料 浜なしピューレ
- 保存方法 直射日光、高温多湿を避け常温保存
- 販売数量 23,977個(2024.5現在)





市内の企業との共同研究で開発した新商品です。

両品とも、試作を何回も重ね、浜なしの風味や食感に徹底的にこだわった品。

愛称は、やるJAんどら焼きとやるJAんバウムです。

両品とも、横浜市内産の浜なしピューレを練りこみ、やるJAんどら焼きは、餡をバター香るくちどけの良いスフレでサンドし、やるJAんバウムは、しっとりしながらも軽い食感のバウムクーヘンです。



「浜なし」とは、JA横浜の基準をクリアし、認定を受けた果樹生産者が丹念に育て上げます。樹上でギリギリまで完熟させるため、大玉で糖度も高く、旨味が強いのが特徴です。また、産売所に並ぶとすぐに完売してしまうため「幻の梨」とも呼ばれています。「浜なし」は、JA横浜の登録商標です。

横浜市内産「幻の浜なし」  
練りこんだ「特製浜なし」  
口どけの良いスフレ



「浜なし」とは、JA横浜の基準をクリアし、認定を受けた果樹生産者が丹念に育て上げます。樹上でギリギリまで完熟させるため、大玉で糖度も高く、旨味が強いのが特徴です。また、産売所に並ぶとすぐに完売してしまうため「幻の梨」とも呼ばれています。「浜なし」は、JA横浜の登録商標です。

横浜市内産「幻の浜なし」のピューレを  
練りこんだ、しっとりしながらも  
軽い食感のバウムクーヘン。



# 牛乳で作る簡単デザート「ふるふる」



- 発売開始日 2023年10月3日
- 商品名 浜なし ふるふる  
横浜メロン ふるふる
- 内容量 150g(3人前)
- 価格 290円(税込)
- 賞味期限 製造日より180日
- 製造元 (株)伊豆フェルメンテ様
- 横浜市内産原料 浜なしピューレ、メロン果汁
- 保存方法 直射日光を避け冷所保存
- 販売数量 3,261個(2024.5現在)







## □横浜メロン

横浜メロンは、品種名ではなく当JAが農業経営事業の一環として生産したメロンです。農業経営事業とは、JAが農業経営モデルの構築と実証を行い収益性を見込める作物の栽培モデルを新たな担い手に事業を継承することを目指す取り組みです。



## □浜なし

浜なしとは、品種名ではなく横浜市内で生産される梨の総称です。2015年に商標登録し、特長ある神奈川県産の農畜産物を登録するかながわブランドにも選ばれています。

# 甘酢漬 やるJAん横浜！ふぞろいらっきょう



- 発売開始日 2023年11月3日
- 商品名 甘酢漬やるJAん横浜！ふぞろいらっきょう
- 内容量 150g(約15～20粒)
- 価格 390円(税込)
- 賞味期限 製造日より120日
- 製造元 丸イ食品(株)様
- 横浜市内産原料 らっきょう
- 保存方法 直射日光、高温多湿を避け常温保存
- 販売数量 2,335個(2024.5現在)





横浜市内産のラッキョウを100%使用！！

原料のラッキョウは、JA横浜の農業経営事業と市内農家2軒が生産したものです。農業経営事業での栽培には、JA職員のほか、准組合員による「援農ボランティア」が携わっています。

本品は、JA横浜と正・准組合員の協働から生まれた一品です。

# やるJAん

は、JA横浜の登録商標です

## ② やるJAんマルシェ



### 『目的』

- ・フードロス削減の取り組み
- ・マルシェを通じた企業間連携
- ・地産地消の普及拡大



市場や直売所に一般流通できない農産物(規格外野菜)を集荷して販売することで、規格外野菜の廃棄量を減らし、地域と生産農家の経済力へ還元することを直売コンセプトにしています。

関連して、JA横浜オリジナルのSDGs商品の販売も行っています。

# やるJAんマルシェの実施スキーム

ポイントは、イベントごとに農家に個別声掛け。  
新鮮な規格外農産物を買取り販売していること。

①農家は用意されたコンテナに規格外品を入れる



②JA横浜営農インストラクターがコンテナを集荷して買取り



③当JAの販売員がイベント会場に搬入



④当JAによる販売



# やるJAんマルシェの販売方法

ポイントは、かご売り。  
セットされたかごにお客様が追加で選べる楽しみを加えています。

①おやさいセットの作り方



②はじめに3~5種の野菜がセットされたかごを選ぶ  
(手前側の白いかご)



③次に配置された野菜から好きな野菜を  
数種類(2~3種類)選んでかごに入れる



④かごを持ってレジで会計



お客様との対話を最も大事にし、販売しています。  
なぜなら、「横浜の野菜を知ってほしい」「旬な野菜を知ってほしい」  
「もったいないを共有したい」という思いからです。

# やるJAんマルシェの実績

## 『新横浜公園ピクニックパーク』



開催時間:10時00分~13時00分(3時間売切れ)  
来店者数:125名  
販売品目:19種(大根/ねぎ/小松菜/人参など)  
SDGs商品(カレー/どら焼き/バウムなど)  
販売数量:38コンテナ

2022.11.19

## 『BALL PARK FANTAGIA』 in横浜公園



開催時間:10時00分~15時00分(5時間)  
来店者数:92名  
販売品目:SDGs商品(カレー/どら焼き/バウムなど)  
販売数量:336個

2022.12.10



# やるJAんマルシェの実績

## 『無印良品港南台バース』



開催時間:13時00分~16時00分(3時間売切れ)  
来店者数:120名  
販売品目:19種(レタス/にんにく/レモン/トマトなど)  
SDGs商品(カレー/どら焼き/バウムなど)  
販売数量:48コンテナ  
2023.2.4  
2023.4.22

※記載内容は4/22出店分

## 『ハマフェスY-164』 in象の鼻パーク



開催時間:11時00分~17時00分(6時間売切れ)  
来店者数:492名  
販売品目:キャベツ/ほうれん草/ブロッコリーなど  
SDGs商品(カレー/グミなど)  
販売数量:224コンテナ  
2023.5.27  
2023.5.28

※記載内容は5/27・28出店分

# やるJAんマルシェの実績

## 『磯子まつり』



開催時間: 10時00分～13時30分(3.5時間売切れ)  
来店者数: 209名  
販売品目: 5種(なす/ししとう/かぼす/かぼちゃなど)  
SDGs商品(カレー/グミ)  
販売数量: 30コンテナ

2023.9.24

## 『新横浜公園ピクニックパーク』



開催時間: 11時00分～13時00分(3時間売切れ)  
来店者数: 175名  
販売品目: 17種(キャベツ/じゃがいも/白菜など)  
SDGs商品(カレー/ふるふる/グミ)  
販売数量: 58コンテナ

2023.10.14

# やるJAんマルシェの実績



## ～お客様の主な声～

～規格外野菜のイメージ～

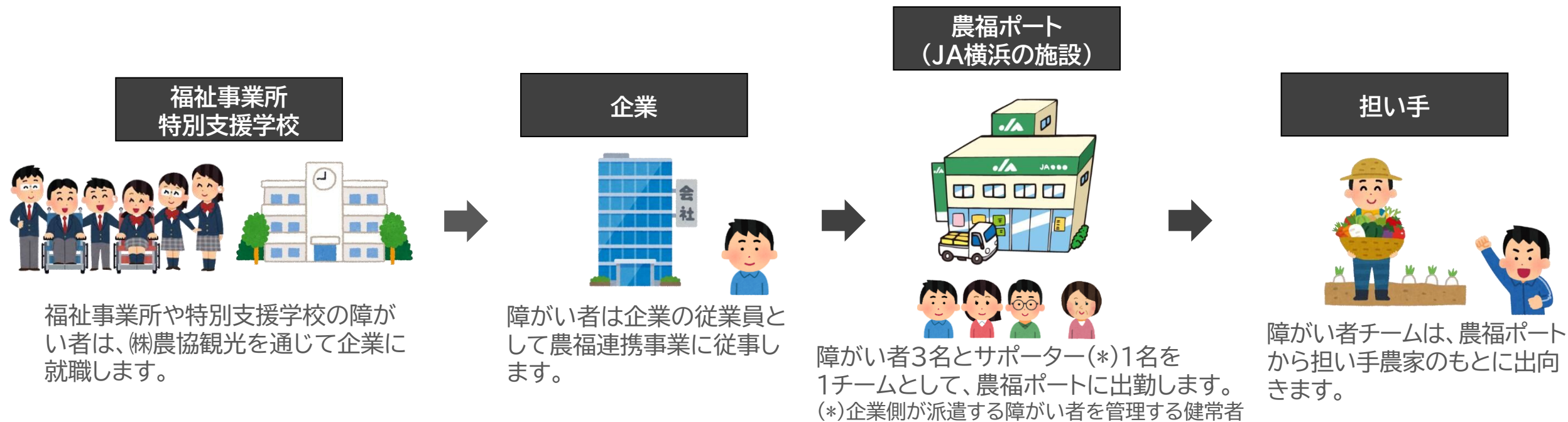
- SDGsといえど、自分に何ができるのかわからない。ここでフードロスに貢献できるならと思い喜んで購入した。
- たしかにキズが付いていたり、曲がっている野菜がたくさんあるけど、この程度で規格外野菜なのかと思った。
- カゴだけの野菜セットでも十分に価値があると思った。さらに数種類も選べるなんてお得感がすごい。
- 野菜の買い方がユニークで面白いし楽しい。
- 野菜の説明を受けながら購入できた。調理の幅が広がりそうです。
- 横浜にこんなに多くの野菜が生産されているとは知らなかった。
- 規格外野菜とはいえ、どれも新鮮で美味しそう。食べるのが楽しみ。
- また開催して欲しい。

# ③ 農福連携への取り組み

JA横浜は、令和5年度から農福連携を開始しました。  
(株)農協観光と連携し、農業分野での『生きがい』や『やりがい』を通じた障がい者の社会参画を進め、農家が抱える労働力不足などの課題解決に向けた持続可能な農業経営を目指しています。



# JA横浜×(株)農協観光の農福連携スキーム



## 【(株)農協観光の役割】



- ①障がい者への職業紹介と企業への採用斡旋
- ②農福ポートの運営

## 【JA横浜の役割】



- ①担い手農家と企業・障がい者をつなぐ機能
- ②農福ポートとして施設の貸出

# 取り組み状況



## 障がい者の声

- ・作業にやりがいを感じている。
- ・販売経験は、お客様の顔が見れて嬉しい。
- ・農家の方々が優しく、安心して働くことができる。

## 農家の声

- ・丁寧な作業に満足している。
- ・想像を超える出来に満足している。  
うちでは戦力です。
- ・手が足りないのでとても助かっています。
- ・作業がはかどり、自分は違う仕事ができるので大変ありがたい。